

---

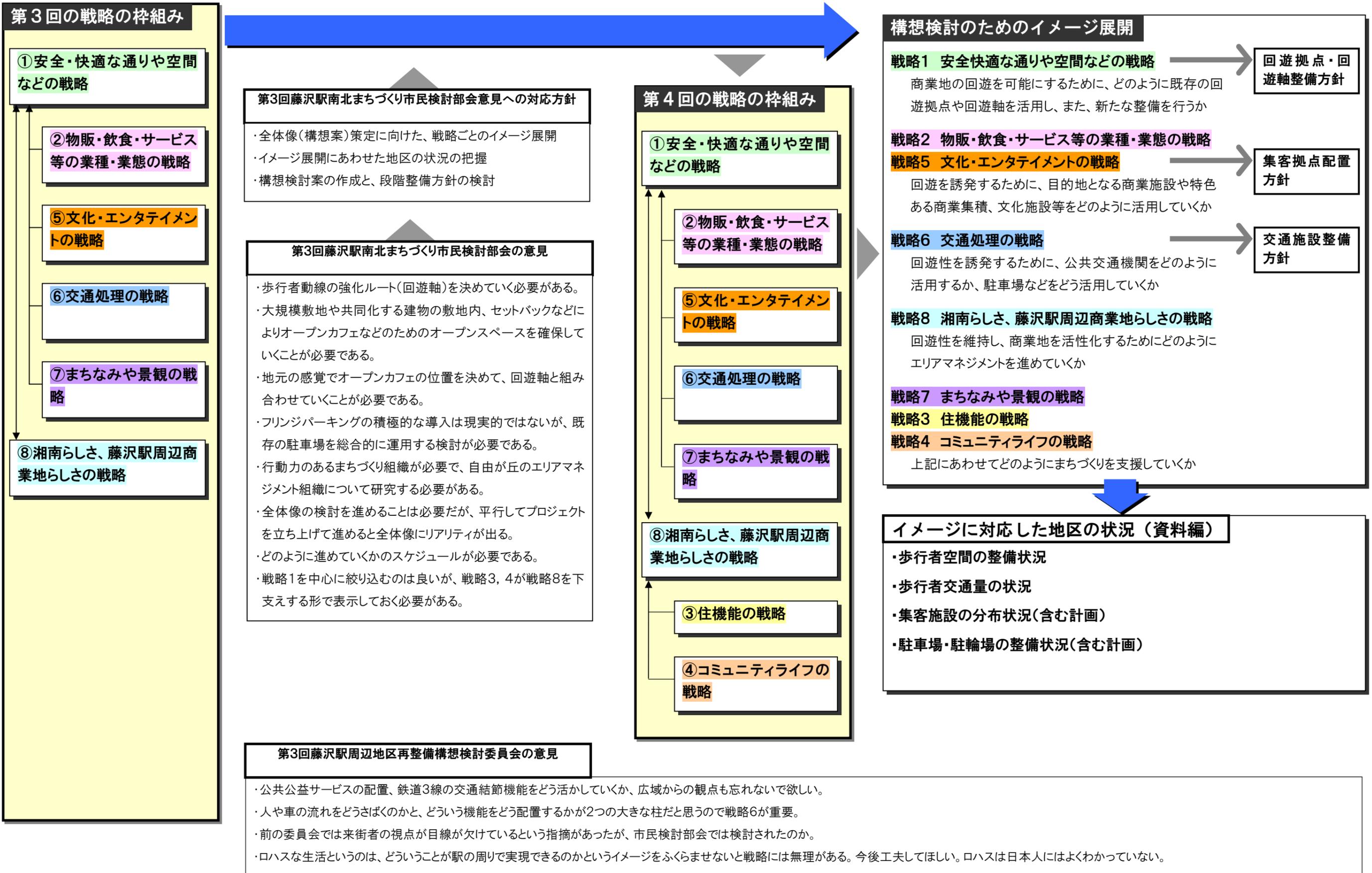
藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会 第4回藤沢駅南北まちづくり市民検討部会

---

## 目指すべき将来像について

1. 検討の進め方
2. 構想検討のためのイメージ展開

2010年（平成22年）12月24日



戦略1 安全快適な通りや空間などの戦略

【回遊拠点・回遊軸整備方針】

駅改札前ゾーンの改善

・各鉄道駅から本地区に最初に降り立つ場所に、鉄道側と協調しながら、イベント、展示、情報提供等を行えるゆとりある歩行者空間を配置することにより、来街者に本地区を印象づけ、回遊を誘導する拠点とします。

南北回遊拠点の改善

・駅改札前ゾーンから発して、南北それぞれの地区の回遊を開始する場所にある回遊拠点(デッキ、駅前広場)を改善することにより、南北の一体感の醸成、交通結節機能の改善、回遊の動機付けを行います。

まちなか回遊拠点の創出

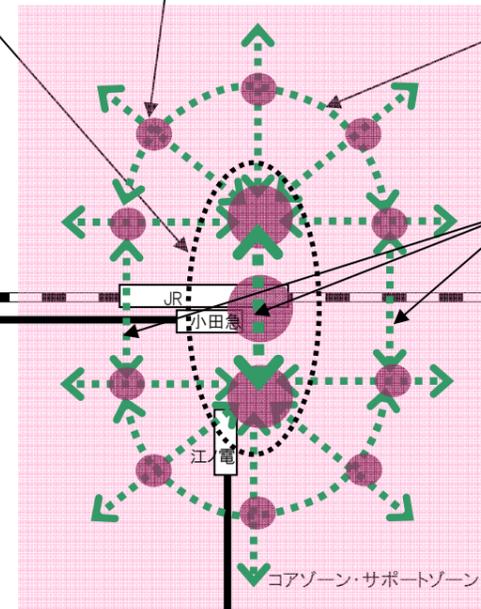
・ビルの建替え時のセミパブリックスペースの創出やセットバックなどにより、まちなかに歩行者が寛ぎ、交流できる拠点をつくります。

回遊軸の改善

・回遊拠点を連携し、安全・快適に回遊が行える歩行者・自転車軸を、既存の歩道空間や民地のセットバック空間などを活用して充実していきます。

南北動線の改善

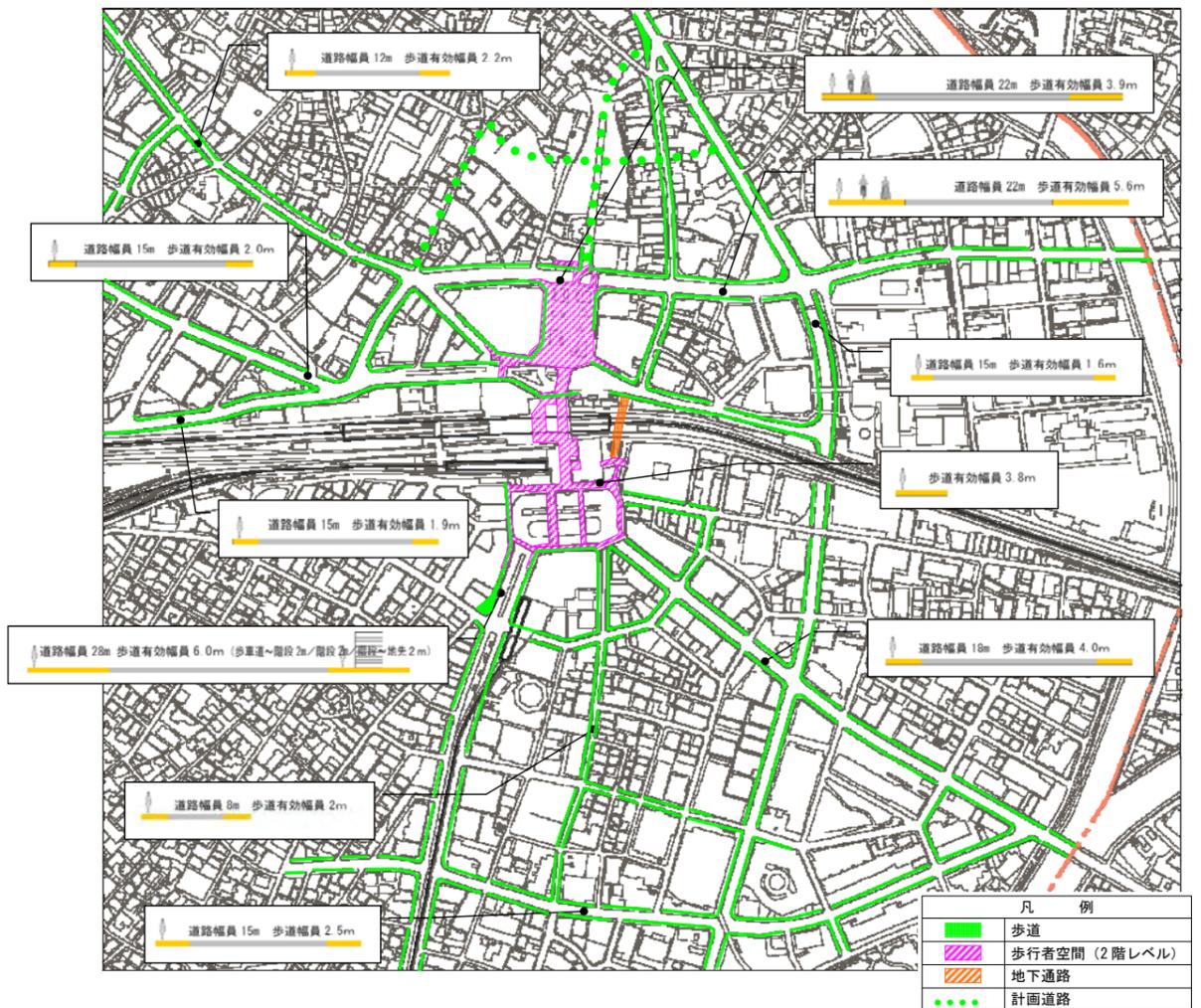
・現在の南北動線(デッキレベル、地下レベル)は、老朽化、きつい勾配、昇降機の少なさが問題であるとともに、コンコースでの歩行者交通の錯綜などにより混雑しています。  
・南北動線のバリアフリーや、ネットワークの充実等により流動性の向上を図ります。



■まちなか回遊拠点となりうる民有地空間例

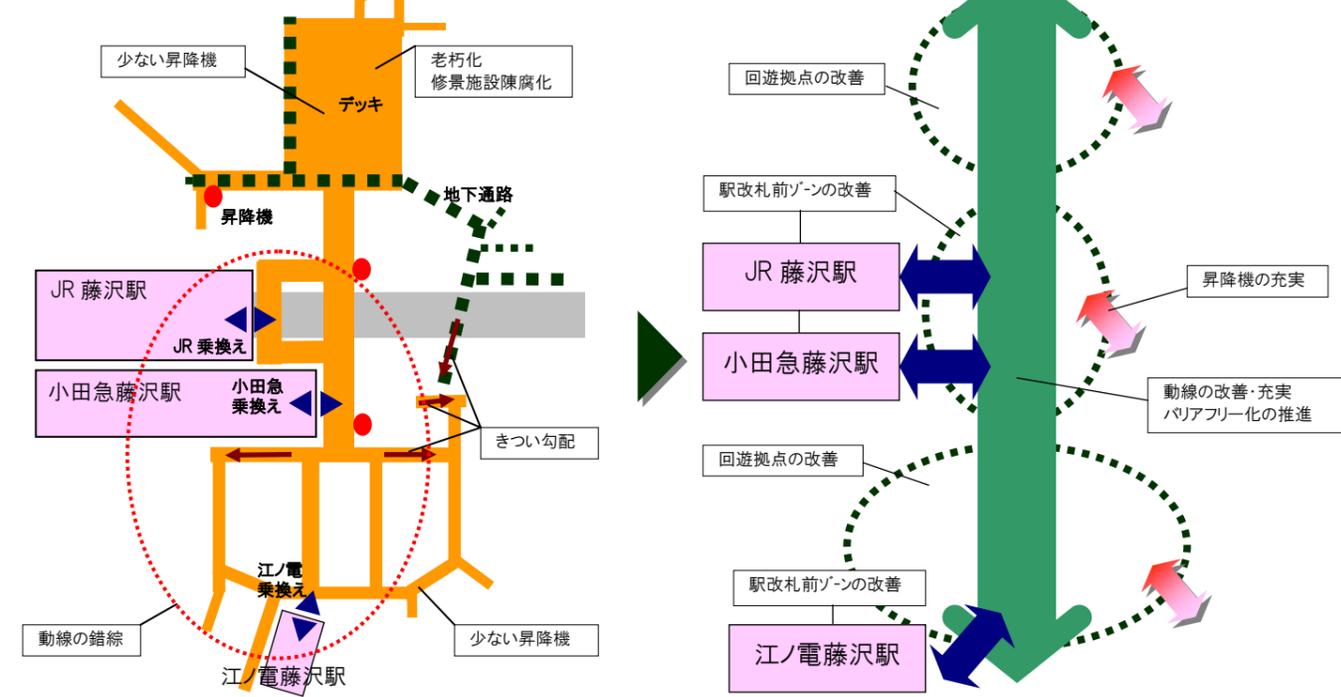


■回遊軸となりうる既存歩行者ネットワーク



■駅周辺の歩行者空間改善の方向性(案)

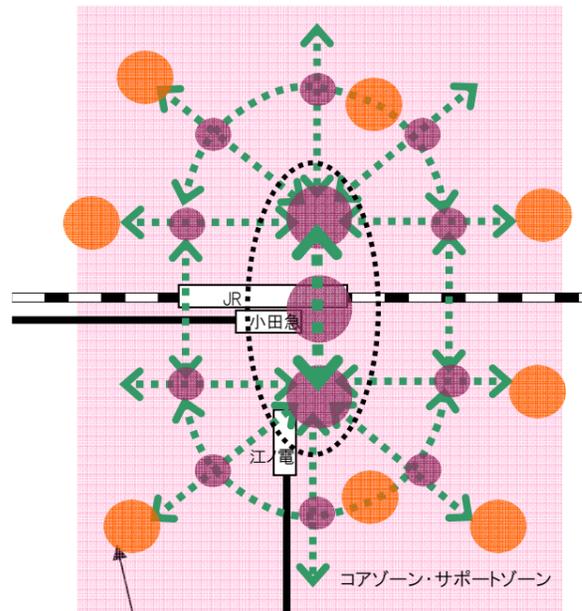
現在の南北動線の状況



戦略2 物販・飲食・サービス等の業種・業態の戦略

戦略5 文化・エンタテインメントの戦略

【集客拠点配置方針】



特色ある集客拠点の配置

- ・コアゾーン、サポートゾーンに回遊を生み出すためには、回遊拠点や軸と合わせて、回遊の目的地となる集客拠点が必要であり、本地区の大型の商業施設や文化施設などを集客施設として活用していきます。
- ・また、音楽関連施設や旧映画館などアート関係の施設が集まっている場所などを資源に、特色を生み出せる場所を集客拠点として充実し、配置していきます。

大型商業施設

旧映画館

FM放送局

音楽専門学校

ホテル

音楽ホール

市役所

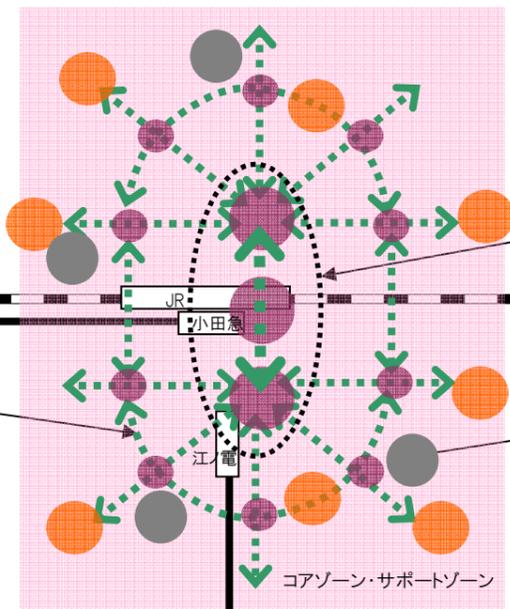
凡	例
	大型店
	文化施設
	宿泊施設
	官公庁施設
	アート関連施設
	商店街

**戦略6 交通処理の戦略**

**【交通施設整備方針】**

**道路の性格付け**

・コアゾーン、サポートゾーンでの円滑な自動車交通処理を行うために、公共交通等の駅へのアクセス、駐車場利用等を勘案して、自動車交通処理を主体とする路線を位置づけ、歩行者が主体となるネットワークを性格づけます。



**駅利用者のまちなかへの誘導**

・藤沢駅の乗降客数は3社合わせて一日約38万人といわれており、これらの人々をまちなかに誘導するとともに、藤沢駅を通過している多くの人々をまちなかに引き込むために、まち全体の魅力の向上を図っていきます。

・バスで藤沢駅に集散する人々についても、単に鉄道との乗換えだけではなく、まちなかに引き出す魅力づくりを進めます。

**自動車・自転車利用者対応**

・地区内での歩行者空間の安全性・快適性を実現するために、地区の周辺に配置された既存の駐車場を活用していきます。

・自転車駐車場については、住宅用、商業用について付置義務やマナー向上などを中心に対応していきます。

**戦略8 湘南らしさ、藤沢駅周辺商業地らしさの戦略**

**エリアマネジメントの必要性**

・まちづくりを推進し、まちを維持・管理していくためには、まちの人が主体的に参加し、活動していくタウンマネジメント組織を立上げ、先行プロジェクトに着手していきます。

**【参考】J-SPIRIT ヒアリング結果**

・タウンマネジメントのきっかけは、都心や周辺の商業地に買い物が流れてしまうという危機感から。

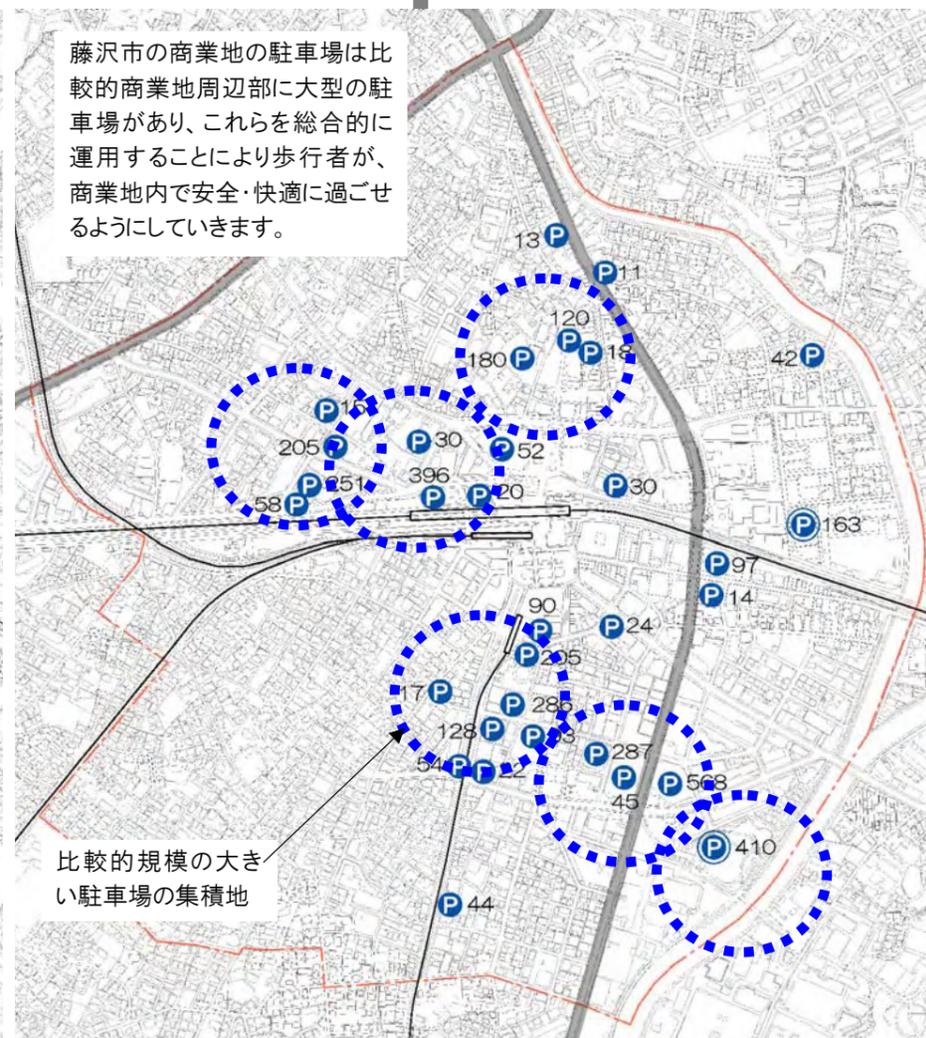
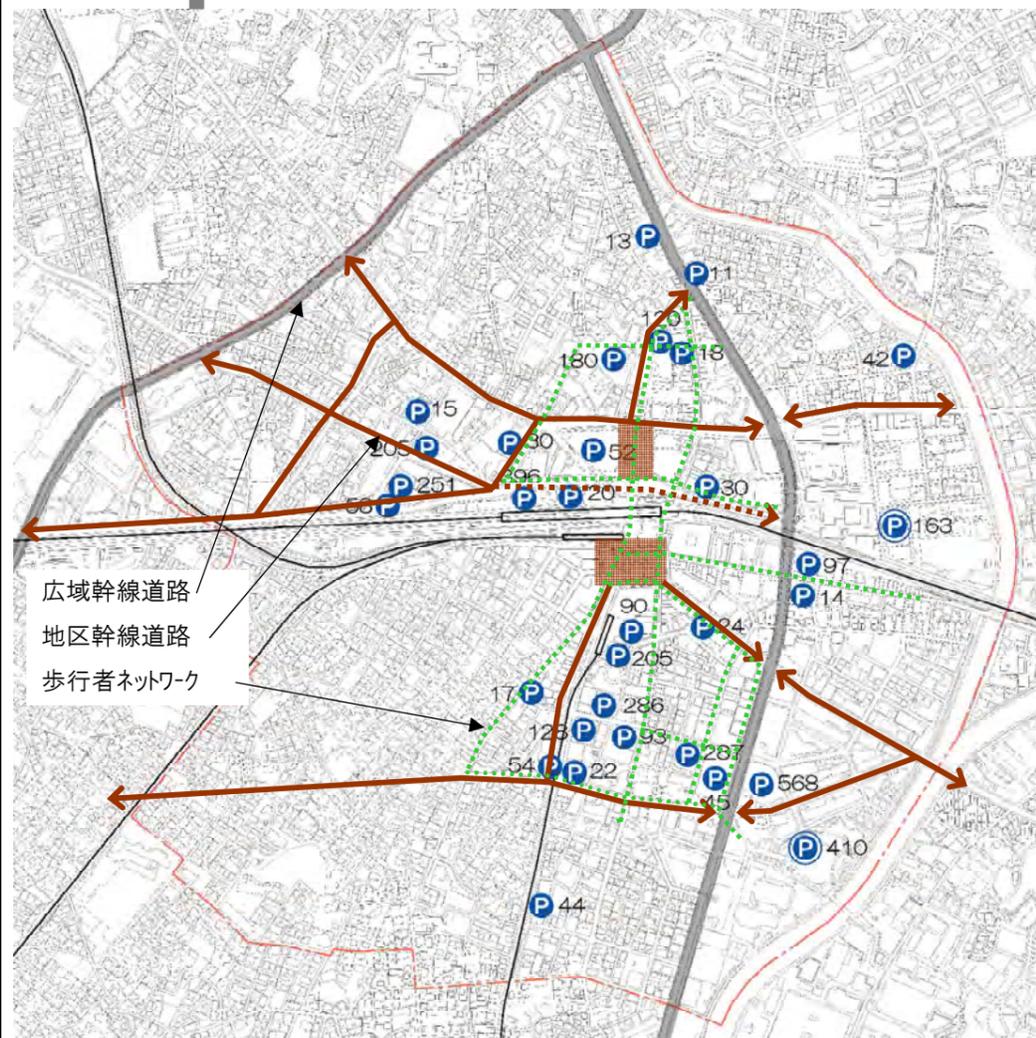
・最初にまちの診断を行って約65項目の実施項目、改善項目をあげて、順次やっていくことにしている。

・運営の財源はカード事業からの収益で行い、ハード整備は交付金などを活用している。

・周辺の商業地にも自由が丘のようなタウンマネジメントを勧めているが、主体的にやる人がいないところはなかなか実現できない。

・ほとんどの活動は手づくりでやっていて、例えばイベントの専門家に頼んだりはない。

・うまくタウンマネジメントを進めていくためには、組織の中で忌憚なく意見を言い合える場が必要。



**戦略7 まちなみや景観の戦略**

・エリアマネジメントの一環として、本地区の特色を生み出せるまちなみ、景観を創出します。

**戦略3 住機能の戦略**

・商業地を支え、活気を生み出す人の定着を図るため、住機能の維持、充実を図るとともに、商業地の一体感が喪失しないように低層部への特色ある商業機能の配置を誘導します。

**戦略4 コミュニティライフの戦略**

・住機能の配置にあわせて、コミュニティインフラ（保育所、託児所、老人介護施設など）を充実していきます。